

# クルーズ船誘致に向けた 佐渡市の取組み

2014年3月25日

佐渡市 総合政策監

藤井 裕士

# 佐渡島の概要

## 《佐渡市》

平成16年3月 1市7町2村が  
合併

○面積 855 km<sup>2</sup>  
(東京23区の約1.4倍)

○周囲 280 km

○最高峰 1,172 m  
(島北部の「金北山」)

佐渡市

新潟県

## ○過疎化や高齢化が進行

【人口】 H16年 H22年  
国勢調査(推計) 68,999人 → 62,727人  
(毎年1,000人程度減少している)

【高齢化率】 H16年 H22年  
佐渡市 34.4% → 36.8%  
(全国) (19.5%) → (23.1%)

【出生数】 H16年 H22年  
404人 → 414人  
【死亡者数】 1,062人 → 1,060人

【合計特殊出生率】 H16年 H22年  
佐渡市 1.54% → 1.75%  
(全国) (1.29%) → (1.39%)

## ○地域産業の低迷

【市内総生産】 H16年 H22年  
2,239億円 → 1,913億円  
(326億円の減)

# 佐渡の豊富な観光資源



世界農業遺産 (GIAHS)

小倉地区の棚田 (千枚田)



世界文化遺産へ

佐渡金山 道遊の割戸



世界ジオパークへ

佐渡小木海岸・神子岩  
(日本地質百選)



鬼太鼓

歴史伝統文化

妙宣寺



豊かな自然

©Takashi Amano

洞爺湖サミット会場に展示された  
杉の巨木群



トキ野生復帰

平成20年トキ放鳥 (第1回目)  
**36年ぶり自然界でのヒナ誕生!**  
**38年ぶり自然界でのヒナ巣立ち!!**<sup>3</sup>

# 佐渡観光の評価



国土交通省・財団法人 日本離島センター主催のアイランダー「最もよい印象だった島」投票で2012は3位、2011は2位、2010は1位

2万人以上の声を集めた新潟県観光地満足度調査結果(H23.3.1) 新潟県実施

【総合満足度が高かった温泉地等ベスト5】

- 1位 佐和田・真野地域佐渡市
- 2位 松之山温泉十日町市
- 3位 五頭温泉郷阿賀野市
- 4位 蓬平温泉長岡市
- 5位 湯田上温泉田上町(温泉地等)

※

回答者数200名以上の温泉地等を対象にした

※

対象温泉地等は、県内において2軒以上の宿泊施設(従業員10名以上)がある温泉地等

2006年に環境省が選定した全国海水浴場100箇所「快水浴場百選」に二ツ亀海水浴場が選定。島内の指定海水浴場はほとんどが、環境省の定める水質基準で最高のAAランク

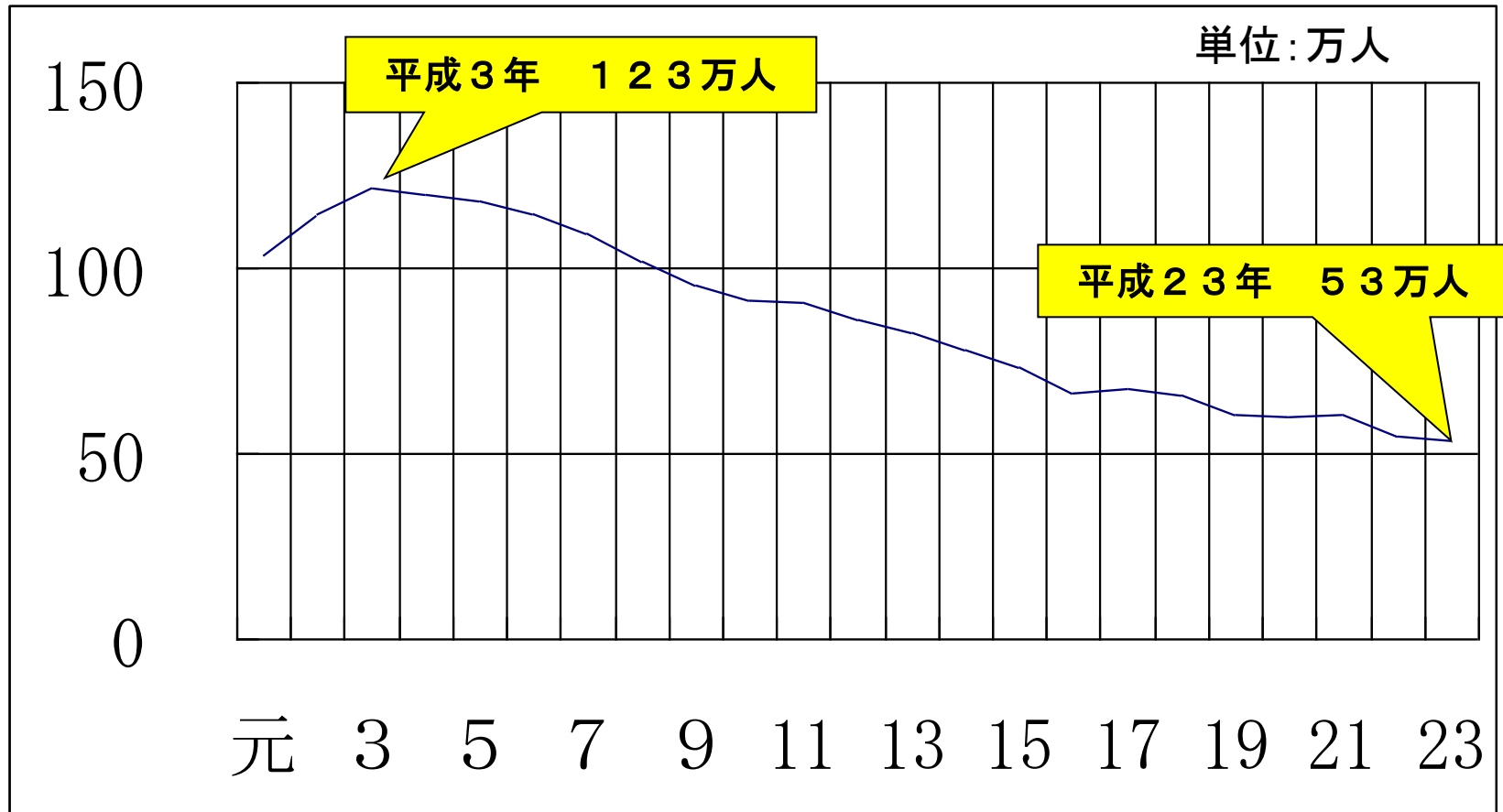


ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで星を得た地域は新潟県内では佐渡のみ。

二つ星: 二ツ亀、大野亀

一つ星: 佐渡島、両津、真野、根本寺、佐渡金山、小木、佐渡國小木民俗博物館

# 佐渡観光の入込客数



出典: 新潟県 佐渡観光客入込数

# 佐渡野外レストラン「DINING OUT SADO」

## <DINING OUT 1日目>

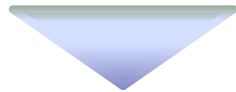
17:00～ @清水寺  
アミューズブーシュ

18:00～ @大膳神社  
到着

18:15～ 薪能「羽衣」鑑賞

18:55～ ディナー

21:15～ 終了



## <DINING OUT 2日目>

09:00～ @黒木御所

09:30～ @長谷寺

11:10～ @宿根木

11:50～ @花の木 昼食

14:30～ @両津港 解散

○佐渡の食材、自然、文化を、一流シェフやクリエイターの力により再編集し、新たな価値として顕在化させ、地域活性化に貢献

○地元観光関係者と共に創りあげ開催することで 地元にもノウハウを蓄積し、高付加価値ツアープランの造成を促す

平成24年10月、平成25年9月に開催

平成25年は観光庁「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」の採択

### @清水寺 アミューズブーシュ

サプライズ演出として案内された「清水寺(せいすいじ)」では、佐渡に対する高澤シェフの気持ちが表現されたマカロンとともにお出迎え。



### @大膳神社 ディナー

前代未聞の女性だけの能舞台、佐渡島食材を使った高澤シェフの料理によるクリエイション。古くから受け継がれてきた“能”と新たに創造された“食”が共有するDOならではの演出が高い評価を受けた。



# 佐渡航路の概要

## (各航路の概要)

	A (新潟-両津)	B (直江津-小木)	C (寺泊-赤泊)
距離	67km	78km	46km
就航船 (就航時間)	ジェットfoil 3隻 (65分) 大型カーフェリー 2隻 (2時間30分)	大型カーフェリー 1隻 (2時間40分)	高速船 1隻 (65分)
就航率 (H23)	ジェットfoil 94.8% 大型カーフェリー 99.5%	大型カーフェリー 99.1%	高速船 77.8%
片道運賃 (H23)	ジェットfoil 6,220円 大型カーフェリー 2,320円	大型カーフェリー 2,530円	高速船 2,760円

## (輸送実績)

(単位:人)

H3	2,542,883	563,916	54,987
H6	2,466,468	522,057	70,472
H9	2,158,749	449,078	54,172
H12	1,997,675	409,788	56,324
H15	1,791,385	345,631	51,411
H18	1,632,333	289,982	49,587
H21	1,560,458	200,625	48,417
H22	1,461,320	176,453	50,417
H23	1,415,942	168,474	43,450

## (収支状況)

(単位:百万円)

H3	1,531	▲174	▲232
H6	1,276	▲504	▲477
H9	1,435	▲1,134	▲372
H12	1,581	▲1,074	▲297
H15	1,101	▲925	▲255
H18	926	▲664	▲199
H21	1,521	▲493	▲182
H22	1,147	▲525	▲226
H23	946	▲455	▲241

## (貨物輸送実績)

(単位:千トン)

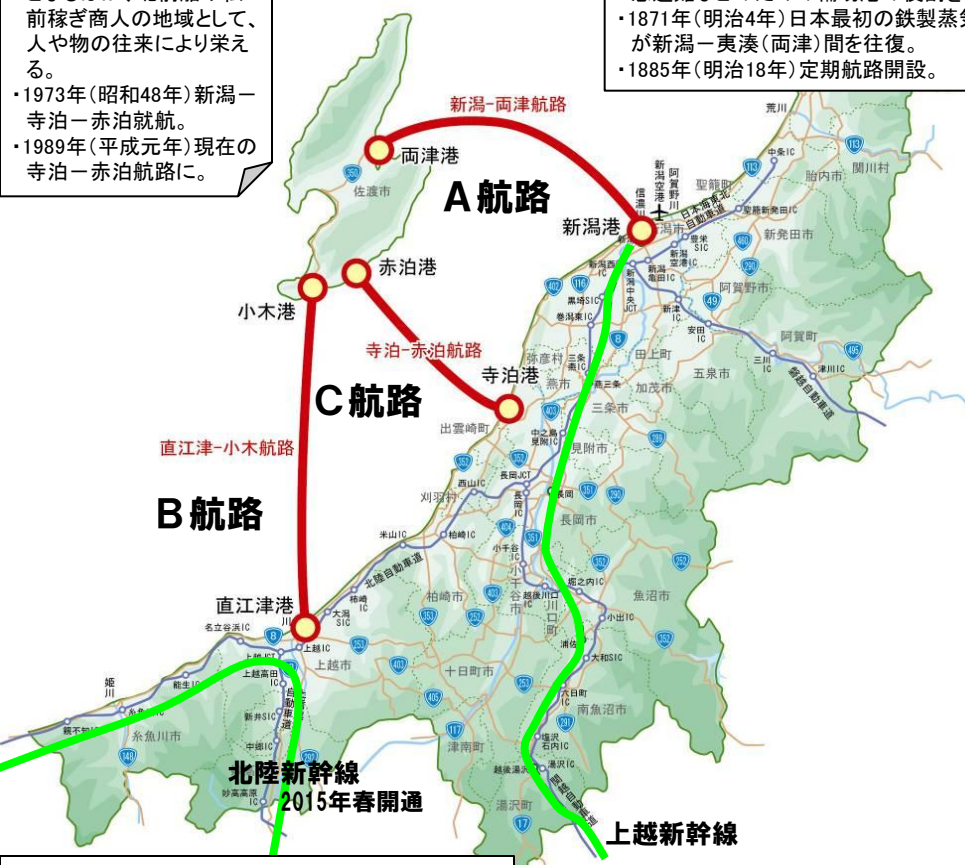
H14	3,545	998	488
H16	3,295	814	324
H18	3,327	769	181
H20	3,065	530	143
H21	3,172	481	85
H22	3,056	430	73

## 寺泊-赤泊航路

- 赤泊港は、江戸幕府直轄領として佐渡奉行渡来港となるほか、北前船や松前稼ぎ商人の地域として、人や物の往来により栄える。
- 1973年(昭和48年)新潟-寺泊-赤泊就航。
- 1989年(平成元年)現在の寺泊-赤泊航路に。

## 新潟-両津航路

- 1868年(明治元年)に新潟港が開港五港に指定されたのに伴い、両津港は新潟港の緊急避難などのための補助港の役割を担う。
- 1871年(明治4年)日本最初の鉄製蒸気船が新潟-夷湊(両津)間を往復。
- 1885年(明治18年)定期航路開設。



## 直江津-小木航路

- 江戸時代には佐渡金山の金銀積出航路として繁栄。
- 1949年(昭和24年)新潟-小木、直江津-小木航路開設。
- 1950年(昭和25年)直江津-柏崎-小木航路開設。
- 1955年(昭和30年)現在の直江津-小木航路に。

# 佐渡航路の就航船

## 新潟ー両津(A航路)



### おけさ丸(大型カーフェリー)

- ・全長 134.7m
- ・総トン数 5,862t
- ・最大旅客定員 1,705名
- ・車両積載能力 大型バス32台と乗用車48台  
または乗用車290台
- ・最大速力 23.4ノット
- ・建造年月 平成5年4月



### おおさど丸(大型カーフェリー)

- ・全長 131.9m
- ・総トン数 5,373t
- ・最大旅客定員 1,705名
- ・車両積載能力 大型バス30台と乗用車50台  
または乗用車190台
- ・最大速力 22.6ノット
- ・建造年月 昭和63年4月

## 直江津ー小木(B航路)



### こがね丸(大型カーフェリー)

- ・全長 120.5m
- ・総トン数 4,258t
- ・最大旅客定員 1,133名
- ・車両積載能力 大型バス28台と乗用車8台  
または乗用車151台
- ・最大速力 21.7ノット
- ・建造年月 平成7年3月



きんが



つばさ



すいせい

### ジェットfoil(全没翼型水中翼船)

- ・全長 22.26m~23.44m
- ・総トン数 164t~277t
- ・定員 260名
- ・最大速力 47ノット(約87km/h)
- ・竣工年月 きんが 昭和54年12月  
つばさ 平成元年3月  
すいせい 平成3年4月

## 寺泊ー赤泊(C航路)



### あいびす(高速船)

- ・全長 47.08m
- ・総トン数 263t
- ・定員 216名
- ・航海速力 25ノット(約46km/h)
- ・竣工年月 平成17年3月



# 両津航路カーフェリー代替船建造事業

- ・社会資本整備総合交付金を活用し、現在就航しているカーフェリーの代替船を建造
- ・安定した運航確保及び交流人口の拡大、観光誘客の促進
- ・補助により削減される減価償却費を原資として、航路運賃の低廉化
- ・事業費60億円(交付金39億円、佐渡市21億円)

## <新造船「ときわ丸」>



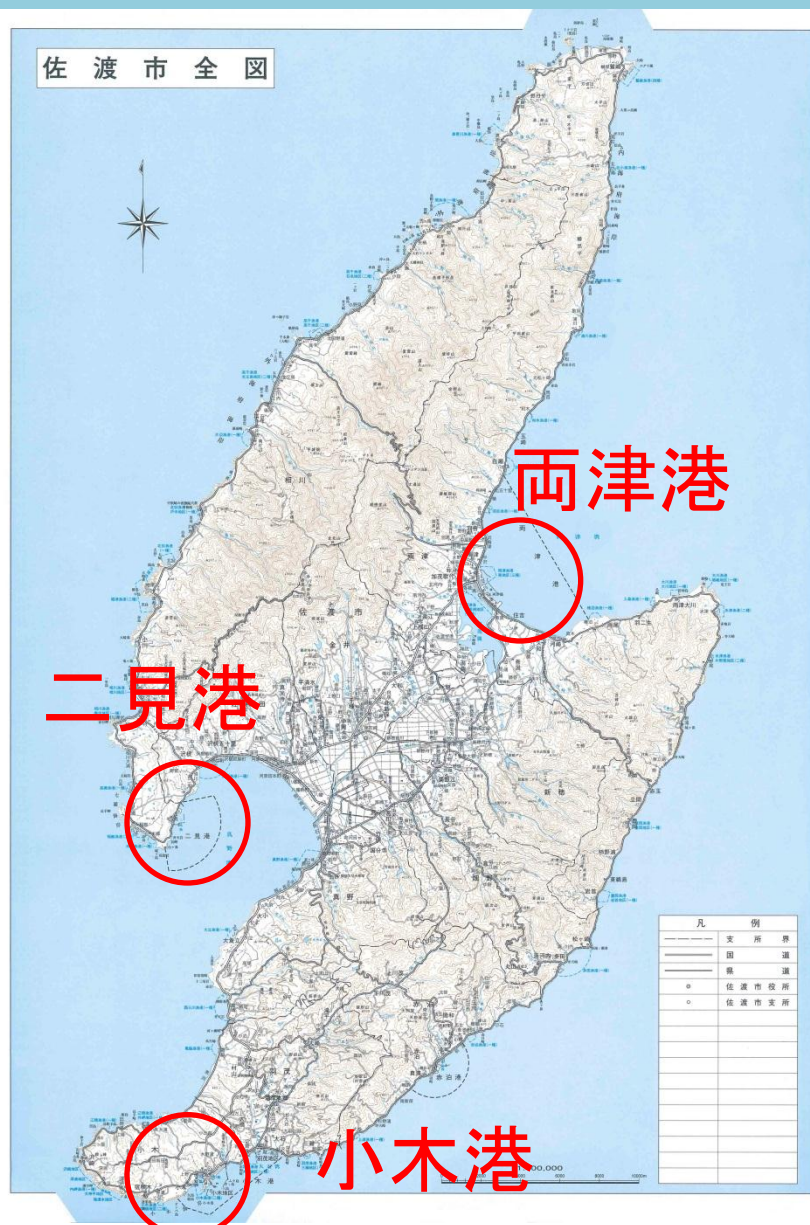
# 小木航路カーフェリー代替船建造事業

- ・佐渡市、上越市の補助金を活用し、現在就航しているカーフェリーの代替船を建造
  - ・安定した運航確保及び交流人口の拡大、観光誘客の促進
  - ・補助により削減される減価償却費を原資として、航路運賃の低廉化
  - ・事業費約57億9千万円(汽船47億3千万円、佐渡市8億1千万円、上越市2億5千万円)
- ※新潟県は、赤字航路への運航支援として15年間で12億円を支援

## <新造船イメージ>



# 佐渡島においてクルーズ船が寄港する港



## ○両津港(重要港湾)

佐渡の玄関口

## ○二見港(地方港湾:避難港)

クルーズ船の利用が多い港。

佐渡金山へのアクセスが便利。

## ○小木港(重要港湾)

歴史的な町並みが残る「宿根木」  
や和太鼓グループ「鼓童」へのアクセスが便利

## <島内でのアクセス>

貸切バスで移動。

# 佐渡島に寄港したクルーズ船 (過去10年に寄港した船)

- 飛鳥 (接岸できないため通船により上陸)
- 飛鳥Ⅱ (接岸できないため通船により上陸)
- にっぽん丸 (接岸できないため通船により上陸)
- ぱしふいっくびいなす (接岸できないため通船により上陸)
- ハンセアティック (接岸できないため通船により上陸)
- カレドニアンスカイ
- クリッパーオデッセイ

港湾施設上、5,000トン程度の船でないと、港に接岸できない。

# 佐渡島へのクルーズ船の寄港回数

単位(回)

		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
両津港	外航	1					
	内航	1			3	1	2
二見港	外航	1	2	2			3
	内航						
小木港	外航						
	内航						
佐渡 全体	外航	2	2	2			3
	内航	1			3	1	2

# 佐渡島のおもてなし

- 島の伝統芸能でお出迎え  
(鬼太鼓、佐渡おけさなど)
- 寄港地の地域をあげてのお出迎え  
(地元保育園の園児による花束贈呈 など)
- 歓迎(ウェルカム)看板の掲示
- 観光パンフレットの配布
- 地元特産品等の紹介・販売



地域あげての歓迎が一番大切

# クルーズ船誘致に向けた取組み

---

## 1 地域をあげてクルーズ船を歓迎する気運を高める

- 各港の地域を中心に「クルーズ船誘致に向けた「対話の集い」を開催

## 2 クルーズ船誘致に関係する団体等が連携した取組みを行う

- クルーズ船誘致事務局を設置
- クルーズ船誘致連携会議の設置

## 3 国や県による助言・支援

# クルーズ船誘致に向けた「対話の集い」

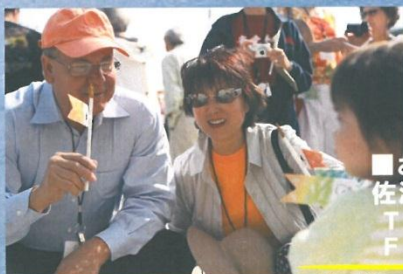
## クルーズ船誘致に向けた「対話の集い」

地域独自の文化的な遺産、豊かな自然を有する佐渡において、クルーズ船誘致等による地域振興のあり方について、地域の方々と考える場として「対話の集い」を開催します。



### 開催日程

- 11月7日(木)【両津地区】 佐渡島開発総合センター  
16:00～ 講師：高田昌行氏(国土交通省港湾局産業港湾課長)
  - 11月22日(金)【小木地区】 マリンプラザ小木  
18:00～ 講師：後藤靖子氏(国土交通政策研究所長)
  - 11月26日(火)【相川地区】 二見集落センター  
16:00～ 講師：白川皓一氏(NPO法人羅針盤理事長)
- 定員：30人 申込必要 ※定員に達し次第締め切ります

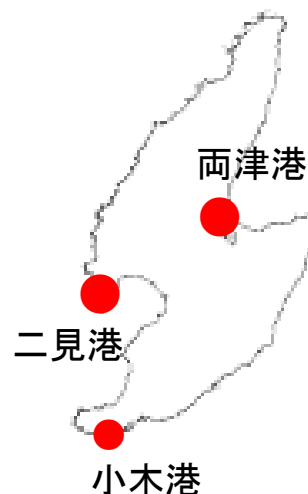


■お問い合わせ・申し込み  
佐渡市観光振興課 国際観光係  
TEL:(0259)63-5116  
FAX:(0259)63-5126

主催：佐渡市／佐渡観光協会／佐渡港湾協会  
後援：北陸信越運輸局、北陸地方整備局、新潟県

クルーズ船誘致の気運を高めるため、国・県の協力・支援により、各港(両津・小木・二見)を中心に、「対話の集い」を開催。

「対話の集い」では、クルーズ船の動向に詳しい方やクルーズ船誘致に携わっている方を講師に迎えて意見交換を行った。





# クルーズ船誘致に向けた「対話の集い」

- クルーズ船誘致等による地域振興のあり方について、地域の方々を考える場として、「対話の集い」を、クルーズ船誘致やみなとまちづくりによる地域振興の中心となる**両津、小木、相川の3地域**で開催。
- 次第はいずれの地域も①講師による講演、②地域代表による地元の動向・取組紹介を踏まえ、③出席者による対話・意見交換の3部構成とした。
- 参加者募集にあたっては、チラシ等を通じて地域住民にも広く周知を行った。



	両津地区(両津港)	小木地区(小木港)	相川地区(二見港)
開催日時	2013年11月7日(木)16:00～	2013年11月22日(金)18:00～	2013年11月26日(火)16:00～
場所	佐渡島開発総合センター	マリンプラザ小木	二見集落センター
講師による講演内容	「クルーズ等みなとを活用した地域振興」 高田昌行氏 (国土交通省港湾局産業港湾課長)	「観光とクルーズについて」 後藤靖子氏 (国土交通政策研究所長)	「室蘭におけるクルーズ船寄港時の乗客歓迎の取組について」 白川皓一氏 (NPO法人羅針盤理事長) 「港湾におけるクルーズ振興に関する動向と乗客歓迎イベントについて」 箕作幸治氏 (北陸地方整備局港湾空港部港湾空港企画官)
地域代表による地元の動向、取組紹介等	NPO法人みなと昭和館 代表理事 中川昌司氏	小木港利用協議会 副会長 木村英太郎氏	二見港利用促進協議会 事務局長 坂本久和氏

# クルーズ船誘致に向けた「対話の集い」

	両津地区(両津港)	小木地区(小木港)	相川地区(二見港)
クルーズ船 寄港実績 (H20以降)	<p><b>内航クルーズ中心</b></p> <p>H20 内航1隻・外航1隻 H23 内航3隻 H24 内航1隻 H25 内航2隻 H26 2隻(予定) ※にっぽん丸、ぱしふいっくびいなす等</p>	<p><b>H26以降、受入開始</b></p> <p>H26 2隻(予定) ※ぱしふいっくびいなす(予定)</p>	<p><b>外航クルーズ中心</b></p> <p>H20 外航1隻 H21 外航2隻 H22 外航2隻 H25 外航3隻 H26 2隻(予定) ※クリッパーオデッセイ、ハンセアティック、飛鳥Ⅱ等</p>

「対話の集い」での議論	内航クルーズ実績に加え、更なる大型客船誘致に向けた港湾拡充整備要望があったが、まず、誘致するターゲット設定の重要性が確認された。	H26年度のクルーズ船受入に向け高まる機運の中、鼓童等地域資源の活用や、クルーズ関係者が集い、つながり、情報共有を行う場の必要性が確認された。	例年の外航クルーズ船の受入環境整備に向け、島全体でのおもてなしの仕組みや、主体間の情報共有、意見交換の必要性が確認された。
-------------	--	---	---

## ■各地域での議論を踏まえた今後の課題

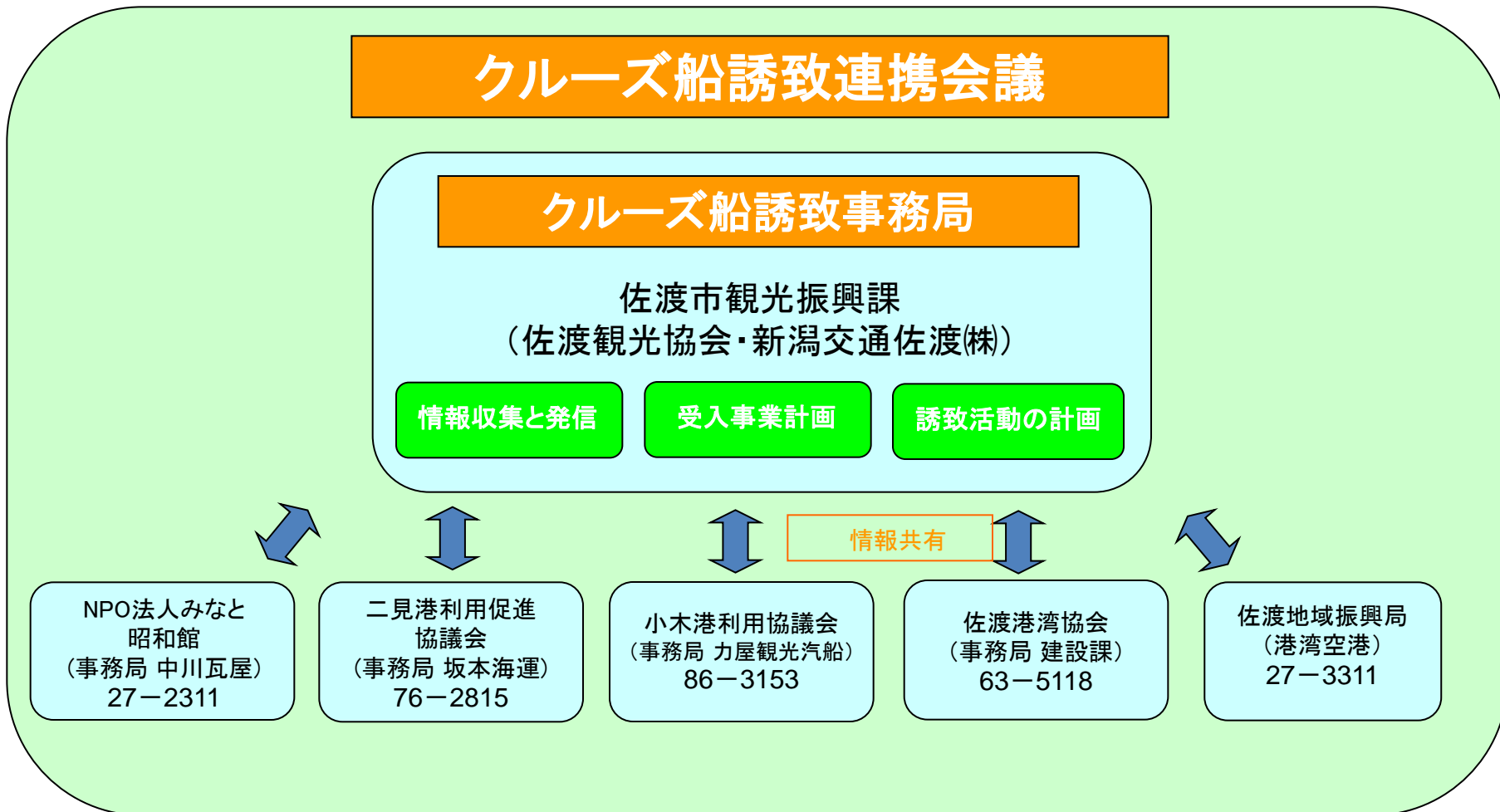
- 個別で誘致・受入を行うのではなく、島全体で情報共有する連絡会設立、場づくり等による連携体制の強化。
- 観光客の特性分析等に基づいた、戦略的なおもてなしの実施。
- クルーズ客を島内観光に誘導するための方策検討。

# クルーズ船受入連携体制の構築

- 佐渡市におけるクルーズ船誘客促進に向け、情報の収集と共有、受入事業及び誘致活動等を連携して推進するため、「佐渡市クルーズ船誘致連携会議」を設置
- 各港の受入団体、利用促進協議会、観光協会、商工会、交通事業者、新潟県、佐渡市等の関係者が参加



# クルーズ船受入連携体制の構築



# 平成26年 来島が決定しているクルーズ船

日付	クルーズ船名	寄港する港
5月12日	ぱしふいっくびいなす	小木港
5月18日	カレドニアンスカイ	二見港
8月 1日	ぱしふいっくびいなす	小木港
9月20日	にっぽん丸	両津港



# 今後の課題

---

## ○ソフト面

- ・関係者の意識の共有・向上、連携体制の確立
- ・魅力ある地域づくり・素材の磨き上げ
- ・島民の歓迎意識

## ○ハード面

- ・大型クルーズ船が接岸できる  
港湾整備



ご清聴ありがとうございました。

